

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	岩崎幸弘
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	深見礼子



2019～2020年度名古屋アイリスRCのテーマ

アイリスは 希望に満ちて 新時代
～前途洋々～

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第287回 例会

2019年9月11日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会運営・司会委員長
- 斉 唱 われらの生業
- 出席報告 出席者数 21名 / 34名
出席率 64.70%
- ゲ ス ト 「空の会」主宰 伊藤加代子様
- ビジター 福岡東 RC 溝江典江様

ニコボックス

- 福岡東 RC 溝江典江様
おじゃま致します。
- 岩崎幸弘 会長
伊藤加代子様、溝江典江様、今日はアイリスへようこそ。
- 加藤正広 幹事
伊藤加代子様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
- 安井忠 会員増強委員長
8月30日、9月6日 皆様にお世話になりました。特に青木恭子さん、小島京子さん、ありがとう。
- 片桐栄子 親睦委員長
伊藤さん、本日は卓話を楽しみにしています。ありがとうございます。溝江さん、遠いところからありがとうございます。
- 安井嗣博 会員
8月30日と9月6日 我が社の内覧会にアイリスの皆様にお越し頂き感謝申し上げます。

会長挨拶



みなさん、こんにちは。
本日も 出席いただきまして ありがとうございます。今日は、伊藤加代子様 福岡東ロータリークラブより溝江典江(みぞえふみえ)様をお迎えしての例会です。どうぞ よろしくお願ひいたします。

天候と自分の仕事の話で恐縮ですが、先週末に名古屋に来襲するはずだった台風15号は 関東の方へそれ、8日日曜日にここホテルグランコート名古屋

屋でのランチタイムショーとディナーショーが無事に開催することができ 仕事としてはほっと安心したところでしたが、関東千葉では46万戸が3日たった今も停電ということで 今日中の復旧もめどもたたず、きびしい状況だということです。まだまだ30度以上の夏が続いていますし熱中症でお亡くなりになっている方もいるようです。謹んでお見舞い申し上げる次第です。また 夏休みの日記みたいで恐縮ですが.....

先週9月7日(土曜日)10時からの「弥生プライマル株式会社」竣工内覧会に行かせていただきました。まさに職業奉仕の一環の会社訪問というのでしょうか...。安井嗣博(やすいつぐはる)社長には、ていねいな説明やおこころ配りをいただき まことにありがとうございました。きれいなオフィスと明るい環境でうらやましい限りでございました。そして 何とも素晴らしい会長室 まで みせていただき 驚嘆いたしました。ほんとうに広いデスク と この先 絶対座ることが出来ないような 高級革張りソファー そして おちついた雰囲気まさにこれは、自分の目標とするところであり 憧れの部屋でもありました.....。しかし、そこには こうなるようにお前もつと死ぬ気で働け!! というメッセージがこめられているとも感じたところでした。とにかくすごかった!! 安井会長の自慢のワンウェイの駐車場システムにも みなさん感心しきりでありました。

今日もおいしい食事と楽しい例会。今日の例会は、伊藤加代子様の卓話と理事役員の方には、理事会がでございます。ロータリー三昧の日ですが、食欲と芸術の秋にむけてどうぞみなさん元気にがんばりましょう。簡単ですが、本日の会長挨拶おわりです ありがとうございます。

幹事報告



加藤幹事より以下の幹事報告がありました。

①福岡東 RC 溝江様から福岡のお菓子のお土産を頂戴しました。有難う御座います。②第7回ワールドフードふれ愛フェスタの前売りシートが入りましたので、2,000円シート2枚ずつお持ち下さい。③今月25日水曜日は、親睦夜間例会です、ミシュランガイドに記載されました『香楽』さんでの開催です、沢山の

参加をお待ちしております。④連絡が 2 回目ですが、クラブ計画書の修正が有ります。

前回修正をされていない方にお願ひが有ります。修正シールを作成しましたので、順番にお返ししますので、お貼り下さい。

1 点 林さんの自宅住所です。

2 点 岩崎会長の生年月日改め所在地です。

以上幹事報告です。

卓話



「お茶は経営者の嗜み」
お茶と数学「空の会」主宰・
一般社団法人中川運河キ
ャナルアート理事
伊藤佳代子様

伊藤様は、現在も裏千家家元の業躰職にある京都在の師匠の下で研鑽を続けられ、大学で専攻した数学とお茶が今日の活動の両輪となっています。教育学部出身という特性からお稽古場でのお茶の稽古だけでなく、学校教育の場でのお茶の指導も続けておられます。90 年、発刊に関わった幼稚園でのお茶の実践記録集「おさきに どうぞ ありがとう」は、三浦朱門氏を座長に結成された「生涯学習」の部会の資料として文部省に納本されました。また市民活動として中川運河再生プロジェクト「中川運河チャンネルアート」でも活躍されておられます。

頂戴しました卓話の要旨は以下の通りです。

【要旨】茶の湯は「食べて飲む」という日常茶飯のことを伝統文化、しかもきわめて高い精神的文化にまで昇華した文化であり哲学です。

お茶の歴史についての解説。「茶者南方之嘉木也」、東亜半月弧、遣唐使、季御読経、栄西、喫茶養生記、無住道暁 尾張国長母寺「沙石集」、唐物莊嚴の茶、茶の湯御政道、わび茶、大名茶、貴族のお茶、数寄者のお茶。

明治のコレクターは美術から入って、茶の湯に行き着かざるを得なかった。数寄者とは趣味として茶の湯を楽しむ政・財界の富裕な人々。文化財の海外流出という危機に、いかに日本の伝統文化を守るか。美術収集の動機の一つ、フェノロサ・岡倉天心、明治大正の名古屋の経営者は高橋彦次郎、糟谷徹三郎、関戸守彦、富田重助、伊藤祐民、岡谷惣助、高橋正彦、高松定一。

お茶は展開したら、逆の手順で最初の位置に戻す。終始、心身の戻るべき場を絶えず自覚し続けている。つまりいつでも原点に戻る覚悟でやっている

お茶を通して、ご縁を大切にしたい我々の世界での生き方を学んでいくことができる。つまり、自分自身の我の世界に気づき、深め、広げ、活性化させていくことができ、我々の世界での学びに通じる。そんな心のありようが実業家の関心を引きやがて彼らはお茶の虜になったのでしょう。